



インストールの準備

この章では、Cisco Prime Network Registrar をインストールする前に実行する必要があるタスクについて説明します。

- [インストールチェックリスト](#) (1 ページ)
- [はじめる前に](#) (2 ページ)
- [Cisco Prime Network Registrar ライセンスファイルの取得](#) (3 ページ)
- [他のプロトコルサーバの実行](#) (3 ページ)
- [バックアップソフトウェアとウイルススキャンのガイドライン](#) (4 ページ)

インストールチェックリスト

この項では、Cisco Prime Network Registrar をインストールするために従う必要のある手順について説明します。

インストールを開始またはアップグレードする前に、以下のチェックリストを参照して、準備が整っていることを確認します。

表 1: インストールチェックリスト

タスク	チェック
Cisco Prime Network Registrar 10.1 をサポートするための最小要件をオペレーティングシステムが満たしていますか。 (システム要件 を参照)	<input type="checkbox"/>
ハードウェアが最小要件を満たしていますか。 (システム要件 を参照)	<input type="checkbox"/>
必要に応じて、Cisco Prime Network Registrar ディレクトリとサブディレクトリをウイルススキャンから除外しましたか。 (バックアップソフトウェアとウイルススキャンのガイドライン (4 ページ) を参照)	<input type="checkbox"/>
Windows では、ウイルススキャンや自動バックアップソフトウェアプログラムなど、他のアプリケーションは閉じていますか。デバッガーユーザグループはローカルユーザとローカルグループに含まれていますか。	<input type="checkbox"/>

タスク	チェック
適切なソフトウェアライセンスがありますか。(ライセンスファイルを参照)	<input type="checkbox"/>
ソフトウェアのインストールに必要な管理権限がありますか。	<input type="checkbox"/>
ターゲットインストールサーバに十分なディスク容量がありますか。	<input type="checkbox"/>
これは新規インストールですか、アップグレードですか。	<input type="checkbox"/>
クラスタの動作モードはリージョナルですか、ローカルですか。	<input type="checkbox"/>
これはフルインストールですか、クライアント専用インストールですか。	<input type="checkbox"/>
64 ビット JRE/JDK がシステムにインストールされていますか。その場合、どこにインストールされていますか。	<input type="checkbox"/>
Web UI は HTTP 接続、HTTPS 接続のどちらかですか、それとも両方ですか。	<input type="checkbox"/>
以前のバージョンの Cisco Prime Network Registrar からアップグレードしていますか。その場合は次のことを確認します。	<input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ● アクティブなユーザ インターフェイス セッションはありますか。 	<input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ● データベースはバックアップされていますか。 	<input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ● サポートされているバージョン (Cisco Prime Network Registrar 8.3 以降) からアップグレードしていますか。 	<input type="checkbox"/>
Linux に必要なパッケージがインストールされていますか。(Linux OS のシステム要件を参照)	<input type="checkbox"/>

はじめる前に

サポートされているオペレーティングシステムを実行しており、ご使用の環境が他の現行システムの要件をすべて満たしていることを確認します(システム要件を参照)。

オペレーティングシステムをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードを実行する前に、既存のデータベースの一貫性を保つために、現在インストールされている Cisco Prime Network Registrar リリースを使用して、進行中の構成変更を完了します。
2. データベースをバックアップします。インストールプログラムは、以前のインストールから構成データを検出しようとし、データをアップグレードします。
3. オペレーティングシステムをアップグレードし、前提条件のソフトウェアをインストールします。

Cisco Prime Network Registrar ライセンスファイルの取得

Cisco Prime Network Registrar 10.1 を購入すると、ソフトウェアを登録した後、シスコから電子メールの添付で FLEXlm ライセンスファイルが届きます。

ソフトウェアをインストールする前に、リージョナルクラスタのインストール中にアクセスできる場所にライセンスファイルをコピーする必要があります。インストールプロセスでは、ライセンスファイルの場所を尋ねられます。

ライセンスファイルを取得するには、次の手順を実行します。

1. ソフトウェアに同梱されているソフトウェアライセンス権利証明書のドキュメントをお読みください。
2. 証明書に記載されている製品認証キー（PAK）番号をメモします。
3. 証明書に記載されている Web サイトのいずれかにログインし、登録手順に従います。登録プロセスには PAK 番号が必要です。

登録後 1 時間以内に、電子メールでライセンスファイルを受け取る必要があります。

一般的なライセンスファイルは次のようになります。

```
INCREMENT base-system cisco 10.1 permanent uncounted \  
  
VENDOR_STRING=<Count>1</Count> HOSTID=ANY \  
  
NOTICE="<LicFileID>20110919130037832</LicFileID><LicLineID>4</LicLineID> \  
  
<PAK></PAK><CompanyName></CompanyName>" SIGN=521EA9F0925C
```

他のプロトコルサーバの実行

Cisco Prime Network Registrar DNS、CDNS、DHCP、または TFTP サーバを、他の DNS、DHCP、または TFTP サーバと同時に実行することはできません。Cisco Prime Network Registrar インストールプロセスで競合が検出されると、警告メッセージが表示されます。

Windows システムでは、次のいずれかのメソッドを使用して、サービス コントロール マネージャから構成を変更します。

- いずれかのユーザインターフェイスで停止機能を使用して、Microsoft プロトコルサーバと競合する Cisco Prime Network Registrar プロトコルサーバを停止します。
- Microsoft サーバの [スタートアップの種類 (Startup Type)] を [自動 (Automatic)] から [手動 (Manual)] または [無効 (Disabled)] に変更します。

プロトコルサーバを無効にして、システムの再起動後に Cisco Prime Network Registrar サーバが自動的に起動しないようにするには、CLI で `server {dns|cdns|dhcp|tftp} disable start-on-reboot` コマンドを使用します。

バックアップソフトウェアとウイルススキャンのガイドライン

システムで自動バックアップまたはウイルススキャンソフトウェアを有効にしている場合は、Cisco Prime Network Registrar ディレクトリとそのサブディレクトリをスキャン対象から除外します。除外されていない場合、ファイルロックの問題によってデータベースが破損したり、Cisco Prime Network Registrar プロセスで使用できなくなったりする可能性があります。デフォルトの場所にインストールする場合は、次のディレクトリとそのサブディレクトリを除外します。



(注) このマニュアルでは、*install-path* を使用する場合、Cisco Prime Network Registrar インストール時に指定されたインストールパスのすべてまたは一部を参照します。Linux のデフォルトのローカルクラスタパスである `/opt/nwreg2/local` および `/var/nwreg2/local` を使用する例として、*install-path* はこれらのパスを表します。

- Windows :

install-path\data (たとえば、C:\NetworkRegistrar\Local\data および C:\NetworkRegistrar\Regional\data)

install-path\logs (たとえば、C:\NetworkRegistrar\Local\logs および C:\NetworkRegistrar\Regional\logs)

- Linux :

install-path/data (たとえば、/var/nwreg2/local/data および /var/nwreg2/regional/data)

install-path/logs (たとえば、/var/nwreg2/local/logs および /var/nwreg2/regional/logs)